

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	茨城県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	笠間市立笠間小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	3	3	21	28
児童数	99	104	101	92	103	93	14	606	

研究の概要

1. 研究主題

<p>自ら問題を解決する児童の育成 - 個に応じた指導方法の工夫改善を通して(算数科を中心に) -</p>

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

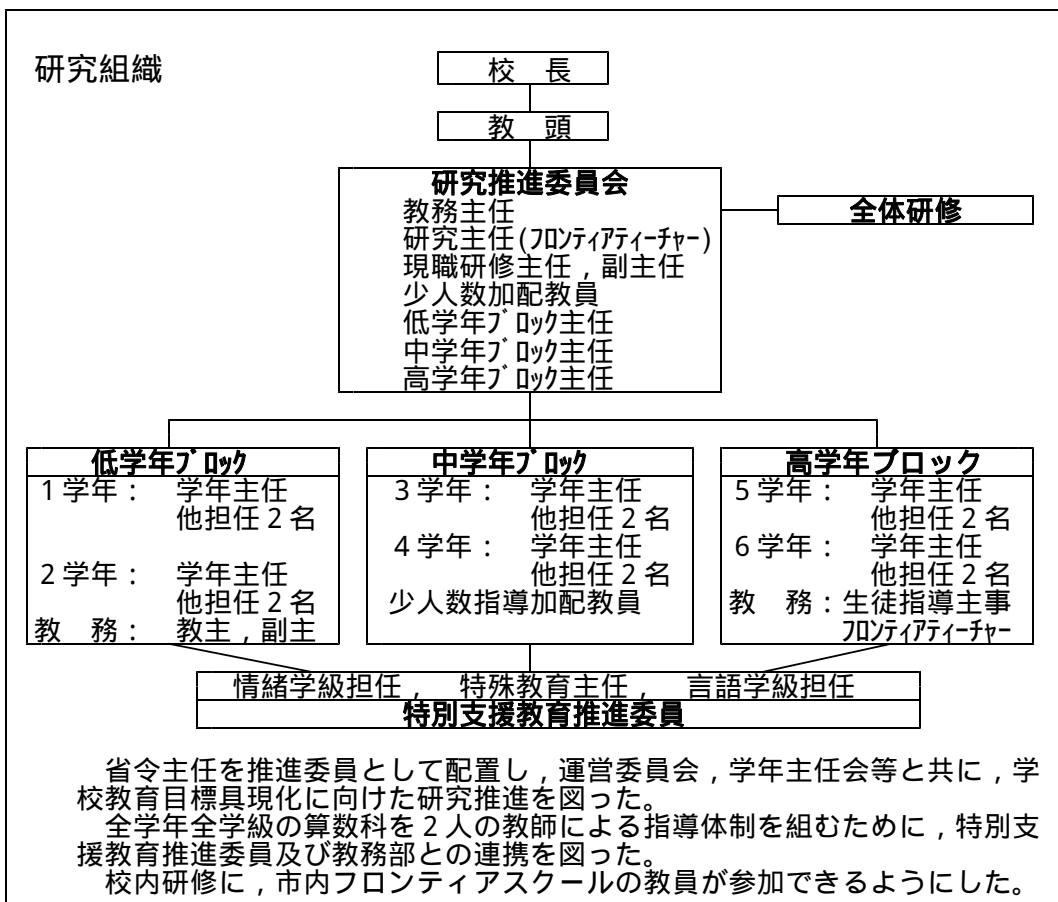
<p>1～6年生・算数 ・特に系統的な指導の積み重ねが必要な教科であり、個に応じた指導方法の工夫改善を進めれば、確かな学力の向上が期待できるため ・学校として、当該教科に関する研究実績があるため</p>

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 自ら問題を解決する児童の育成 - 個に応じた指導方法の工夫改善を通して(算数科を中心に) -</p> <p>研究の見通し ・仮説1 学年や学習内容によって、TT, 少人数の指導方法を工夫すれば、一人一人の学びの質が向上し、自ら問題を解決する態度や意欲が向上するであろう。 ・仮説2 児童が学習を見通し、学習の成果を確認できる手立てを工夫すれば、自分に合った学習課題やその方法を選択する力が育つであろう。</p> <p>研究の内容・方法 仮説1について ・低学年でのTT, 中・高学年での少人数指導 ・少人数指導でのコース分けの工夫 ・指導形態を踏まえた授業の計画的な実施と改善</p> <p>仮説2について ・興味・関心を高める算数的活動の工夫 ・プリント教材の作成 ・思考力を高める活動や場の構成 ・ふりかえりカードの作成と改善 ・評価の実践と改善</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 自ら問題を解決する児童の育成 - 個に応じた指導方法の工夫改善を通して（算数科を中心に） -</p> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮説1 学年や学習内容によって，TT，少人数の指導方法を工夫すれば，一人一人の学びの質が向上し，自ら問題を解決する態度や意欲が向上するであろう。 ・仮説2 児童が学習を見通し，学習の成果を確認できる手立てを工夫すれば，自分に合った学習課題やその方法を選択する力が育つであろう。 <p>研究の内容・方法</p> <p>仮説1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年でのTT，中・高学年での少人数指導 ・少人数指導でのコース分けの改善 ・指導形態を踏まえた授業の計画的な実施と改善 <p>仮説2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心を高める算数的活動の工夫 ・プリント教材の作成と計画的な活用 ・思考力を高める活動や場の構成の工夫 ・ふりかえりカードの合理化 ・評価の改善と記録の活用 ・チャレンジカードの活用と記録の活用
--------	---

(3) 研究推進体制



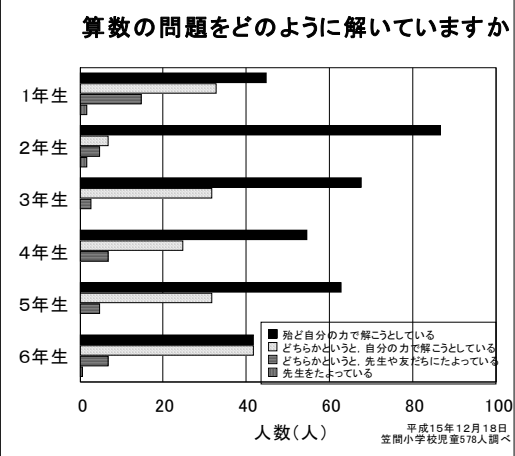
平成15年度の研究成果及び今後の課題
1. 研究成果

児童の大半が算数の問題を自力で解こうとするようになってきた。
(グラフ1)

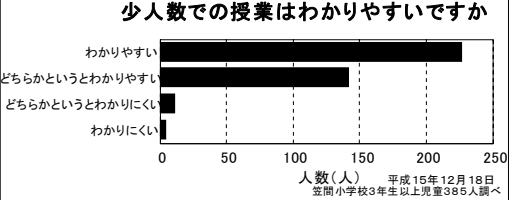
大多数の児童が、算数の授業が分かり易いと感じるようになってきた。
(グラフ2)

これらは、日常の算数の授業でTTや少人数指導を工夫して行い、児童自らコースやプリント問題を選択するなどの授業改善を行ってきたことから、児童の学びの質が向上し、自ら問題を解決する態度や意欲が向上したためと思われる。

【グラフ1】



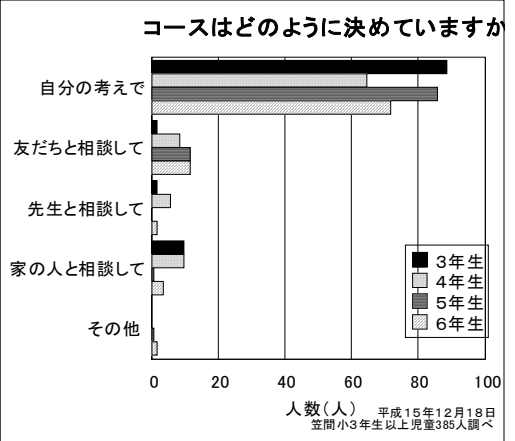
【グラフ2】



【グラフ3】

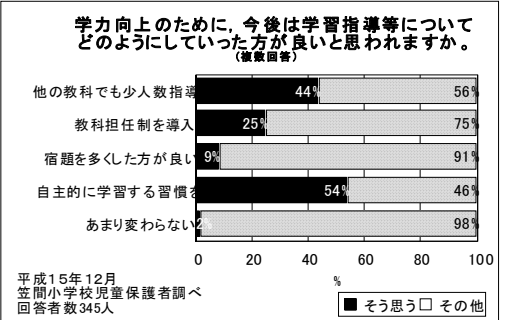
少人数コースの決定については児童の大半が自分の考えで行うようになってきた。(グラフ3)

ふりかえりカードや前提テスト等を活用し、学習の成果を確認して自分に合った学習課題やその方法を選択する力が育った結果と思われる。



【グラフ4】

指導方法については保護者からも大変好評で、他教科においても少人数指導を望む声が多かった。
(グラフ4)



2. 今後の課題

算数科単元別指導形態一覧とふりかえりカードの充実と授業改善
 個に応じるためのプリント教材の開発と活用
 一人一人の習熟の程度や特性を次の指導者に引き継ぐカードの作成と、年度
 を越えた個に応じる指導の継続

学力等把握のための学校としての取組

学力診断テスト：前学年での学習内容の定着状況把握・分析	4月
各単元別テスト：単元の学習内容の理解状況把握	単元末
漢字力テスト：当該学年漢字の習熟状況把握	各月
計算力テスト：当該学年の計算の習熟状況把握	各月
実力テスト：本年度学習内容の定着状況把握・分析	2月
チャレンジカード：学習内容の定着状況の把握	3月～通年
児童アンケート：教科に対する意識・取組状況把握	各学期末
保護者アンケート：学力向上に関する取組についての保護者の意識把握	各学期末

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究会開催実績及び開催予定（日時，場所，対象，会の目的等）

- ・茨城県数学研究会前期研修会で授業公開 2003年6月13日 9:30～10:20
 本校，県内小学校教員対象
 目的：会員等の相互研修
- ・校内研修会(外部講師招聘) 同年 6月13日 15:30～16:30
 本校にて，本校教員と市内フロンティアスクール教員対象
- ・研究推進校訪問指導にて授業提案 2003年7月2日 9:30～12:20
 本校にて，本校教員と市内フロンティアスクール教員対象
 目的：相互研修
- ・フロンティアスクール研究発表会（授業公開・研究協議）
 2003年10月31日 13:30～16:40
 本校にて，県内小学校教員対象
- ・平成16年度フロンティアスクール研究発表会 日時未定

研究成果普及のためのHP作成 随時

フロンティアティーチャーとしての研究成果普及のための活動実績予定

- ・「教育茨城」(第813号)に研究実践レポート掲載 2003年10月
- ・笠間市教育会研究発表会にて実践報告 2004年2月17日 14:00～
 笠間市中央公民館にて
 市内小中学校教職員対象

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	6学級以下 13～18学級 25学級以上	7～12学級 19～24学級		
【指導体制】	少人数指導 一部教科担任制	T・Tによる指導 その他		
【研究教科】	国語 生活 体育	社会 音楽 その他	算数 図画工作	理科 家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	